



地域・家庭・学校を結ぶ学校だより

高台

<https://www.ota-school.ed.jp/magomehigashi-js>



令和6年11月1日
令和6年度第7号
大田区立馬込東中学校

＜何を学び何を得たか＞ 一生徒のみなさんへ

校長 松井 圭一

閉会式後、みなさんの素晴らしい舞台と展示発表・鑑賞態度・合唱コンクールに対する熱い思い・実行委員と放送委員の仕事ぶりに感動が冷めやらぬ校長室でこの文章を打ち込んでいます。

まずは中心となって学芸祭を成功させてくれた実行委員のみなさん、多くの生徒が知らない場で綿密な打合せの下、準備や練習、運営とお疲れさまでした。放課後、自分の時間を割いての準備はたいへんだったと思いますが、この経験はみなさんを大きく成長させてくれました。そして、それはこれからの生活の大きな糧となります。

次に各クラスの伴奏者のみなさん、指揮者のみなさん、パートリーダーのみなさん、クラスみんなで合唱曲を創り上げる難しさや緊張感は意識していなくてもストレスとなったでしょう。みなさんのおかげで、9クラスとも聴き応えのある合唱となりました。そして、歌が得意な人も苦手な人もいるとは思いますが、ステージに上がり、令和6年度のクラスの仲間と歌ったこの世で唯一の合唱曲を紡ぎ出したみなさんが胸を張って歌い上げた姿がとても印象に残りました。残念ながら、金賞受賞クラスは各学年1クラスずつですが、どのクラスも同じ目標に向けて練習に励んできたことには大きな意義があります。合唱をととしてクラスの仲間と一つの目標に向けて協力し合いながら進んできたことが、クラスの仲間との絆をしっかりと深めたのです。このことは決して忘れないでほしいと思います。

さて、午後の部では五つの団体の発表がありました。

英語科のスピーチでは現代社会の課題となっている食品ロスとスマホ所持の適性年齢を取り上げ、イラストや図表を入れてわかりやすく、3年生の修学旅行報告では各クラスの代表班がクイズを盛り込んで、海外派遣報告では両コースとも自分の感想をしっかりと述べて発表していました。どの発表も視聴している人たちの興味・関心を引くとても立派なものでした。

ダンス部は多くの曲に合わせて振り付けを覚えるのもたいへんなのに他の部員とシンクロさせたり、演技者全員の動きを考えながら移動したりと、練習の成果が見事に出了すばらしいパフォーマンスでした。

吹奏楽部は多くの部員が自分の担当するパートを演奏し、曲を創り上げる難しさを多くの練習をととしてクリアしてよりよいものに仕上げ、聴き応えのある合奏を披露してくれました。アンコール曲ではリズムカルな3年生男子のダンスも印象的でした。そして、国語科・理科・美術科・技術科・家庭科・総合的な学習の時間・美術部・華道部で、みなさんが創り上げた作品は限られた時間内では鑑賞しきれないくらい優れたものでした。自分と同じ作品を仲間がどのような視点で、どのような工夫を凝らして制作したかに気付くと鑑賞のおもしろさが増したことでしょう。また、2年生と1年生は来年、再来年の自分の作品作りのヒントにしてほしいと思います。

学芸祭の司会進行は放送委員が担当してくれました。多くの人の前で緊張して早口になることもなく、落ち着いた話し方はとても聞きやすく、会場の雰囲気をもたせてくれました。

このように振り返ってみると、馬東のみなさんで創り上げたとても魅力的な価値ある学芸祭だったと思います。

改めて、馬東中学生徒のみなさんの頑張りと成長に大きな拍手を贈ります。みなさんとても輝いていましたよ。

ここで文章を閉めたいところですが、みなさんに伝えておきたいことがあるのでもう少し書き足します。

学芸祭では、PTA保護者の方が受付業務などをお手伝いしてくださいました。また、学区の町会長様をはじめご来賓の方たちがみなさんの発表をご見学にいらっしやってくださいました。みなさんは多くの保護者・地域の方々から支えられているのです。そのことに感謝し、充実した中学校生活を送ってほしいと思います。

< 2年生職場体験学習 >

10月7日（月）から9日（水）まで2年生の職場体験学習を実施しました。

31箇所の事業所に分かれ、日常の学校生活では学習することができない、貴重な体験ができました。働く意義や大変さを学んだことで、将来、自分がやりたいこと探しきっかけになればと思います。



< 後期専門委員スタート >

生徒会朝礼で生徒会役員、各専門委員会委員長の任命式が行われました。

馬込東中学校の伝統を引き継いでいく大切な時間でもありました。2年生が中心となり学校の顔として活動していくこととなります。わからないことは3年生に相談して、1年生に協力してもらいながら学校を盛り上げてくれることを期待しています。

< 学芸祭当日の様子 >



< 令和6年度薬物乱用防止ポスター・標語受賞者 >

標語の部 教育長賞 3年3組 児玉 悠太朗 さん

『 辛いことを乗り越えるのに 必要なのは 薬じゃなくて 友と親 』